

令和7年度 施設関係者評価委員会 議事録（概要）

開催日：令和8年1月22日

参加者：一覧表参照

本園において、令和7年度施設関係者評価委員会を開催しました。当日は、小学校・中学校・高校・大学の校長先生方、保護者代表、姉妹園の保育者にご出席いただきました。

1. 議題

1. 本園の保育実践について
 2. 年長児の話し合い活動（遠足に向けた取り組み）について
 3. 幼児期から高等教育段階までの育ちの連続性について
 4. 家庭・地域との連携の在り方について
-

2. 協議内容

冒頭に、参加者より近況報告として「最近幸せだと感じたこと」を共有しました。卒園生が保護者となって来園された事例や、家庭・地域における子育ての様子が紹介され、子どもを中心とした継続的なつながりの大切さについて確認しました。

また、園庭で育てている野菜の生長に日々関わる子どもが小さな変化に気づき喜ぶ姿を例に挙げ、日常の積み重ねや見守る保育の意義について共有しました。

続いて、年長児が遠足に向けて行っている話し合い活動について報告しました。子どもたちが自分の思いを言葉で表現し、友だちの意見を聞きながら合意形成を図る姿について説明しました。

委員の皆さまからは、幼児期における対話活動の重要性や、小学校以降へとつながる学びの連続性、家庭および地域との連携の必要性についてご意見をいただきました。

3. 今後の課題

- ・ 幼児期における対話的な活動のさらなる充実
- ・ 小学校以降との円滑な接続を意識した保育内容の工夫
- ・ 家庭および地域との連携体制の強化
- ・ 継続的な自己評価および外部評価の実施